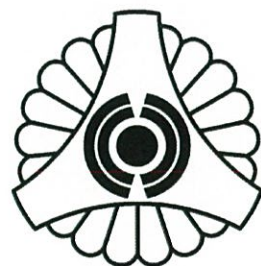


会員オリエンテーション 資料



福島県倫理法人会



倫理法人会とは

倫理法人会は、一般社団法人倫理研究所の法人会組織です。

「企業に倫理を 職場に心を 家庭に愛を」をスローガンに、まず経営者自身が純粋倫理を学び、活力に満ちた人間に変わることによって、社員が変わり、社風が変わり、自社の繁栄を目指すものです。

倫理法人会の会員同士が集い、語り合うことで、自分では気づかないような経営のヒントも得られます。

人と人との出会いは、経営力を高める強い原動力です。

ご挨拶

物質世界に物理という法則があるように、人間生活には倫理という法則があります。それは、地域や民族で違いがあったり、時代と共に変わるものではありません。人がよりよく生きるための普遍的な筋道であり、不変の生活法則です。

これを私たちは純粋倫理と呼んでいます。

この純粋倫理に根ざした経営が、倫理経営です。経営もまた人の営みであるならば、それは倫理に基づくものでなければなりません。

倫理経営の核心は、実践にあります。その主役は経営者自身です。経営者自ら、挨拶や返事、後始末、即行（気づいたらすぐ行う）、感謝、夫婦の愛和など、目の前の小さなことに率先して、喜んで取り組むことで人徳が磨かれ、よき社風が作られます。社長が変われば社員が変わります。企業繁栄のカギは実は身近なところにあるのです。

倫理法人会は、こうした倫理経営を行う経営者の集まりです。

1980年に誕生して以来、全国47都道府県に活動の拠点をもち、およそ65,000社の会員企業を擁する団体として成長してきました。倫理だけでは世の中は変わりません。しかし、倫理なくして世の中は正しくしく変わらないでしょう。

真摯な倫理経営を実践する企業の輪が広がり、やがて日本の創造的な再生（日本創生）への道筋が切り拓かれていくことを願ってやみません。より多くの皆様のご賛同とご参画をお待ちしております。

一般社団法人 倫理研究所

理事長 **丸山敏秋**

倫理法人会憲章

倫理法人会は実行によって直ちに正しさが証明できる純粹倫理を基底に
経営者の自己革新をはかり、心の経営を目指す人々のネットワークを広げ、
共尊共生の精神に則った健全な繁栄を実現し、地域社会の発展と美しい世界作りに
貢献することを目的とした団体である。

これがため以下の活動指針と会員心得を掲げる。

倫理法人会活動指針

1. 倫理の学習と実践の場を提供し、よりよい生活習慣とゆたかな人間性をそなえたリーダーを養成する。
2. 深く家族を愛し、篤く祖先を敬い、なごやかでゆるぎない家庭を築く人を育てる。
3. 「明朗」「愛和」「喜働」の実践により、躍動する職場づくりを推進する。
4. 愛と敬と感謝の経営をめざす会員の和を拡げ、各種の活動をとおして地域社会の発展に寄与する。
5. 自然を畏敬・親愛し、「地球人」たる自覚を深め、環境の保全と美化に貢献する。

倫理法人会会員心得

1. 朗らかに働き、喜びの人生を創造します。
2. 約束を守り、信頼の輪をひろげます。
3. 人を愛して争わず、互いの繁栄をねがいます。

純粹倫理の特徴

- 絶対性 いつ、誰が、どこで、どれほど行っても、常にすべての人を幸福に導く
- 普遍性 世界人類が同時にこれを行っても、何人も同時に幸福になる
- 一貫性 いつまでも変わらない。歴史により、時代により、何の変化も受けない
- 基本性 あらゆる生活の基本となり、宗教・教育・政治・経済などすべてのもととなり、土台となる。これをはなれては人類の歴史は存在しない。

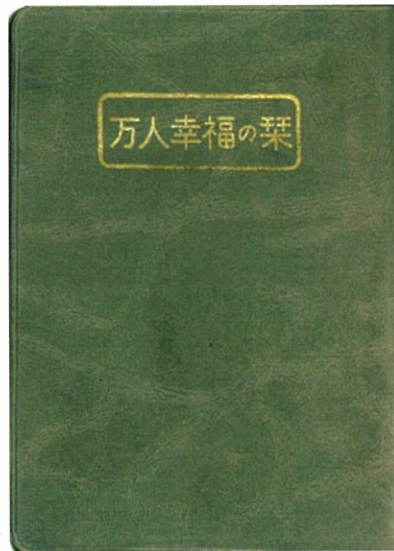
倫理・道徳
人として守り行ふべき道。
善悪・生邪の判断において普遍的な基準となるもの。
モラル

純粹倫理
守れば幸福になり、外れば不幸になるというように、
人の幸不幸とぴったり一致している。

実験実証によって確かめられてきた、実生活と一分も
離れることのない自然の法則だから

倫理研究所を創設して「純粋倫理」を宣布した丸山敏雄は、そのエッセンスを17カ条の標語に要約して生活の指針としました。

万人幸福の栞



倫理と宗教との違い

倫理	対象	教祖・経典・偶像などなし
	関係	人と人との関係を説く
	救済	一人の実践を通して周りの人も幸福にする
宗教	対象	教祖・経典・偶像などあり
	関係	神 or 仏と人間との関係を説く
	救済	神仏信仰による個人の救済

万人幸福の栞

17ヶ条 純粋倫理のエッセンスを17の標語で表した



会員の実践

MSに毎週定期的に参加する

MSにおいて足下の実践をする

足下の実践を会社に拡大する

足下の実践を家庭に拡大する

体験・気づきを楽しみに待つ

明るい挨拶 元気な返事 後始末の徹底 朝起き等々・・・

所在地 東京都千代田区紀尾井町4-5

RINKEN紀尾井町第一ビル

事業

純粋倫理の総合的研究

生涯学習組織的展開

情報メディアの発信

社会教育の実施と施設の運営

文化活動の推進

国際交流の推進

広報宣伝・渉外活動の推進

環境保護・社会福祉活動への協賛

倫理法人会の活動

倫理研究所の法人会員が所属し、全国的規模で活動する組織



昭和55年10月、全国に先駆けて千葉県に倫理法人会が設立



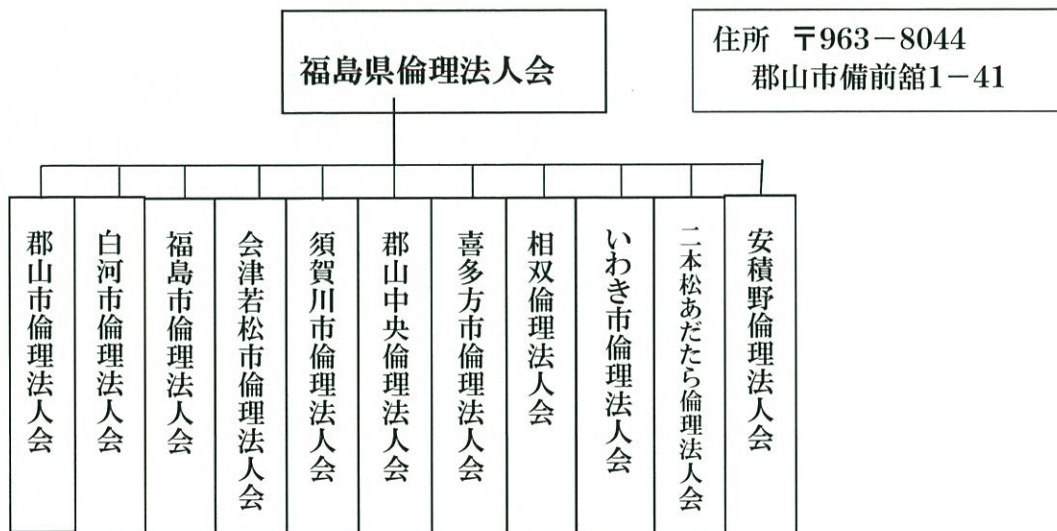
47都道府県に、700あまりの単会が設立されている



純粋倫理の学習により、自己研鑽、自己革新に励み企業を活性化する

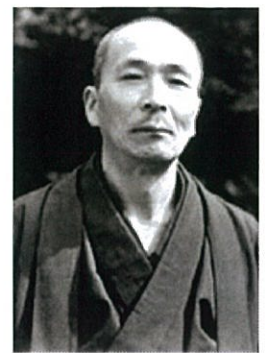


地域社会に貢献する



倫理運動とは

創立者 丸山敏雄
明治25年福岡県生まれ



人間としての真に正しい生き方であり、それに対する確固とした信念を求めた。

終戦後、国民の精神的混乱を憂え、長年にわたる文化、歴史、宗教や道徳の研究を土台に、自らの実践、体験を積み上げながら、

「人間生活のすじみち」(生活法則)を研究 そして、ついに徳福一致の生きた生活法則を発見

これを、「純粹倫理」となずけた

一般社団法人倫理研究所の目的

「倫理の研究ならびに実践普及により、生活の改善、道義の昂揚、文化の発展を図り、もって民族の繁栄と人類の平和に資する」

民族の繁栄と人類の平和に資する

↓
生活の改善、道義の昂揚、文化の発展

↓
倫理の研究ならびに実践普及

為すべきだから

善いこと、正しいことは人に伝えるべきだから

普 及

↓
貴重な体験を通して、純粹倫理の正しさを証明する

↓
実践普及の輪を広げていく

↓
人類の繁栄と平和への道につながる

各種の活動について紹介

具体的な活動

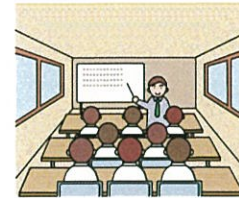
経営者モーニングセミナー

経営者の集い

倫理経営講演会

活力朝礼研修会

清掃活動



企業倫理セミナー（富士研）

倫理指導

倫理指導のお勧め

書籍のご紹介

倫理指導
人生観・人間性の変革 生き方そのものを変える 問題の解消
私情雑念を捨て去る心境で苦難の原因の生活の不自然さをつかむ
指導されたそのままを実行 結果を予想せず、純粹に実践する
無料

- 万人幸福の葉
- 万人幸福の葉・解説(丸山竹秋著)
- 新版純粹倫理入門(丸山敏秋著)
- 丸山敏雄伝(丸山敏明著)
- 一粒の麦(神渡良平著)
- 小さなことから会社は変わる(丸山敏秋著)
- 夢かぎりなく(丸山敏秋著)
- 七つの原理(丸山敏秋著)

福島県

平成30年度役員組織表

佛壇研究所(法人局)
方面長
那須 陸
方面担当研究員
坂元 一成

相談役
青木 信博
別府 一男
遠藤 久
丸山 弘
三瓶 利正

副会長
渋谷 順子
川崎 葉子

会長
川崎 博祐

監査
笠間 善裕
赤塚 英夫

幹事長
岡田 勝彦

事務長
佐山 高雄

事務局長
大西 昭秋
事務局員
江刺 志乃
功刀 和子
荒川 美咲

普及拡大委員会	
委員長	副委員長
平子 健司	石川 澄百子
モーニングセミナー委員会	
委員長	副委員長
松澤 典之	橋本奈保子
研修委員会	
委員長	副委員長
藤森 由喜子	吉見 真一
朝礼委員会	
委員長	副委員長
鈴木 正吾	渡辺 勝
広報委員会	
委員長	副委員長
佐藤 新一	石塚 忠晴
女性委員会	
委員長	副委員長
寺山 佐智子	吉田 陽子
青年委員会	
委員長	副委員長
池田 義人	佐々木 一哉

市会長・専任幹事・普及拡大

単会名	郡山	白河	福島	会津若松	須賀川	郡山中央	喜多方	相双	いわき	二本松あだたら
会長	千葉 和哉	古谷 重男	西坂 早苗	星野 桐男	山野辺 龍介	横田 武男	渡辺 正光	梅田 守	佐久間 一枝	桑原 三夫
専任幹事	加瀬公三郎	紺野 竜一	鈴木 勲	川野辺 弘子	若杉 繁雄	塩澤 孝	真部 賢二	斉藤 エイ子	飯澤 健一	渡辺 寛
普及拡大	菅原 修信	古川 義孝	鈴木 秀行	長尾 好章	大木 正弘	増子 英明	荒川 洋二	斉藤 玲子	鈴木 康弘	高橋 孝志

単会名	安積野
会長	遠藤 克衛
専任幹事	瀬戸 孝子
普及拡大	笠間 善裕

会費の使途

皆様の会費はこのように使われます

〔平成30年度〕

法人会員 会費のゆくえ
〔10,000円に対して〕

